



資産運用こぼれ話: イマジン

寄稿: 岡本 和久

ジョン・レノンの名曲、イマジンという曲はご存知でしょう。その歌詞を替え歌にしてみました。

♪想像してごらん 国なんて無いんだと
そんなに難しくないだろう？
公的年金も国民健保も無く
そして税金も無い
さあ想像してごらん みんなが
ただ自立して生きているって・・・♪

現実はいかほどではないでしょう。しかし、年金だけで退職後の生活費を賄うのは難しいということは知っておくべきです。もちろん、定年後も働くということも可能です。それは大きな助けになるとは思いますが、やはり、生活水準はかなり低下してしまう可能性が大きいでしょう。

そうなる方法の一つです。つまり、若いうちから給料の一部を退職後のために取っておくことが必要なのです。つまり、**今、もらっている給料は今の生活費と将来の生活費の両方の分なのです**。しかし、給料の半分で今の生活を賄い、残りの半分を将来のために取っておくことはよほどの高給取りでない限り難しいでしょう。

そうなる将来のための資金をできるだけ増やす必要があるのです。ここに資産形成が必要な理由があります。例えば給料の7割で生活し、残りの3割を投資に回すとしましょう。仮に25歳から64歳まで、約2パーセント程度のインフレを控除した実質利回りで運用すれば3割の金額がほぼ現在の生活費と同じぐらいに増えるのです。

確定拠出年金、とりわけイデコと呼ばれる個人型や、今年から新たに導入されたつみたてNISAなどの資産形成に適した制度が注目を浴びるようになっていきます。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

両制度はもちろん異なるのですが、共通しているのは配当金や分配金、値上がり益などが非課税になる点です。つまり、課税口座だと取られる税金がこれらの口座では取られないのですから、リターンがその分、向上することになります。これはリスクを高めてリターンを増やしているのとは違います。単に、税金というコストを減らしてリターンを高めているのです。それが長期間にわたり複利で増えていくので効果は絶大です。退職後に備えるためにはこれらの制度をうまく使うことで大きな差が出ることになります。

イマジン、考えてごらん。年金がまったくなかったらどうでしょう。今の給料の一部を将来のために増やしておくことより方法はないのです。さあ想像してごらん みんながただ自立して生きているって……。あとは実行あるのみです。

(この文章は投資手帖 2018 年 7 月号に投稿した文章を加筆修正したものです)